

エルサルバドル政治経済月報

(2017年11月分)

2017年12月
在エルサルバドル大使館

[大使館のビジョン]

エルサルバドルとの友好親善関係を増進し社会発展に貢献しながら日本の国益と国際公益の向上を目指す。

[大使館のミッション]

1. 日本の平和や繁栄を守るための外交政策の構築と実行。
2. エルサルバドルの世論に働きかける広報・文化事業の推進。
3. 在留邦人の生命と財産の保護、日系企業の活動支援。
4. 政治経済情報の収集・分析。
5. 自立的かつ持続的な開発への協力。
6. 服務規程を遵守し、風通しの良い職場環境の維持。

内政

1. 2018年度予算案

与党 FMLN, 野党 ARENA は米州開発銀行 (IDB) の技術支援の下, 2018 年度予算案策定のための協議を開始。中央政府機関や借款償却の歳出額等が焦点となる。

2. 財政問題解決のための政党間合意

与党 FMLN と野党 ARENA は 2018 年 3 月の国会議員・市長選挙前に財政問題解決のため政党間合意を目指すと発表。

外交

1. 日本との防災分野無償資金協力交換公文の署名

6日, 日本政府とエルサルバドル政府は, 供与額4億3,000万円の無償資金協力「経済社会開発計画に関する書簡の交換を実施。詳細は[こちら](#)。

2. 対台湾関係

28-29日, Hsiang 台湾国際合作発展基金会 (ICDF) 事務局長が当国を訪問し, サンチェス・セレン大統領と会談を行った。同会談において, 両者は教育, 保健及びテクノロジーの分野における協力プロジェクトの強化について合意。また, 当国コーヒー農園再生プロジェクトを ICDF と中米経済統合銀行 (BCIE) で 8,000 万ドルの有償融資, 科学・技術協力を通じた 600 万ドルの無償資金協力で実施する。

3. 対米関係

(1) 8日、メインズ米大使は、TPSは2001年に当国で発生した大地震により、当時米国に不法滞在していた者を強制送還することが困難と判断し付与したものであり、その大地震の影響が残っているかを証明することが年々難しくなっていると発言。※現在TPS対象者は約19万人。

(2) 10日、米政府は、暴力を理由に国を脱出した未成年に対する難民認定プログラム：中米未成年プログラム（CAM）の2018年会計年度終了を発表した。

経済

1. ラ・ウニオン港コンセッション法改革法案の提出

8日、当国政府はラ・ウニオン港コンセッション法改革法案を国会に提出した。現行法からの主な変更点は以下の通り。

- ・コンセッション付与年数を30年から50年に変更
- ・最低3,000万ドルの初期投資を義務づけていた条項の削除
- ・直近の過去3年間の年間オペレーション実績が60万TEU以上と義務づけていた条項の削除
- ・コンセッショナにコンセッション選択権（港湾全体、港湾一部あるいは特定部分等）を付与

2. 台湾FTA条項の改定

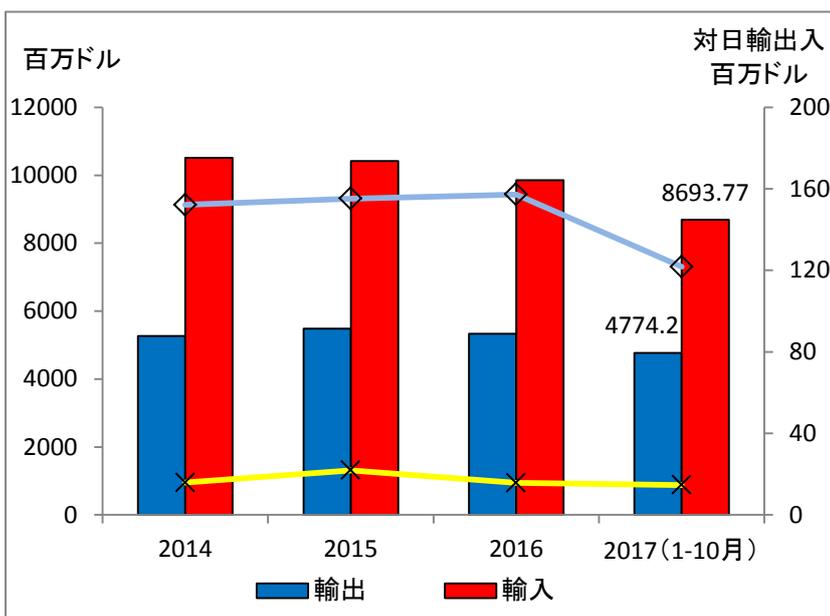
9日、当国国会は台湾FTA条項の一部改定を可決した。本改定による変化は以下の通り。

台湾側：精糖輸入割当量拡大、蜂蜜・一部のドライフルーツ輸入関税撤廃

エルサルバドル側：ゼリー、アロエ飲料及び粘着テープ輸入関税緩和

3. エルサルバドル国立大学(UES)とMilano Bicocca伊大学、製品開発のための共同研究

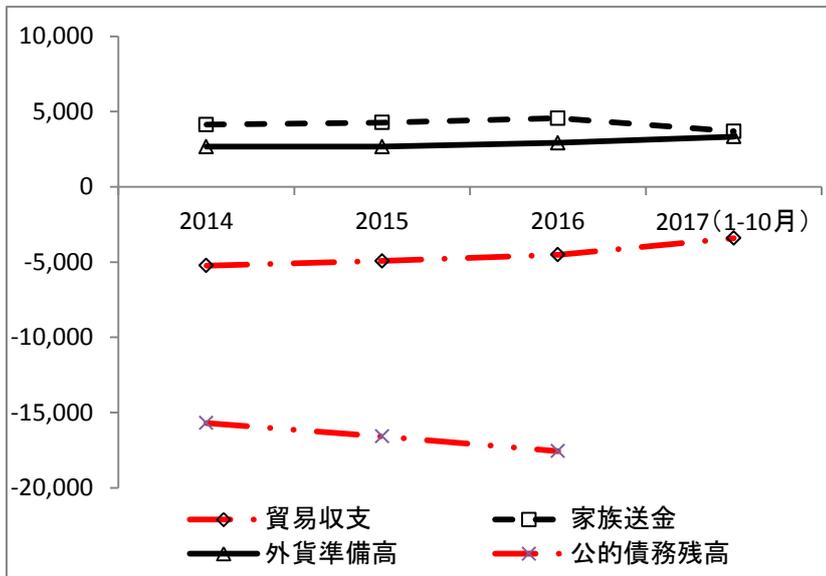
UESとMilano大学はコーヒー、藍、野菜の残骸から医療品・化粧品を生産するための共同研究を開始することを発表。プロジェクト概要は実施期間2017-2018年、投資額を78万1千ドル。



・昨年は原油価格の低下が石油由来製品の輸入価格にポジティブな影響を与え、貿易収支の赤字額が減少。

・10月までの輸入価格は先月と同様上昇。

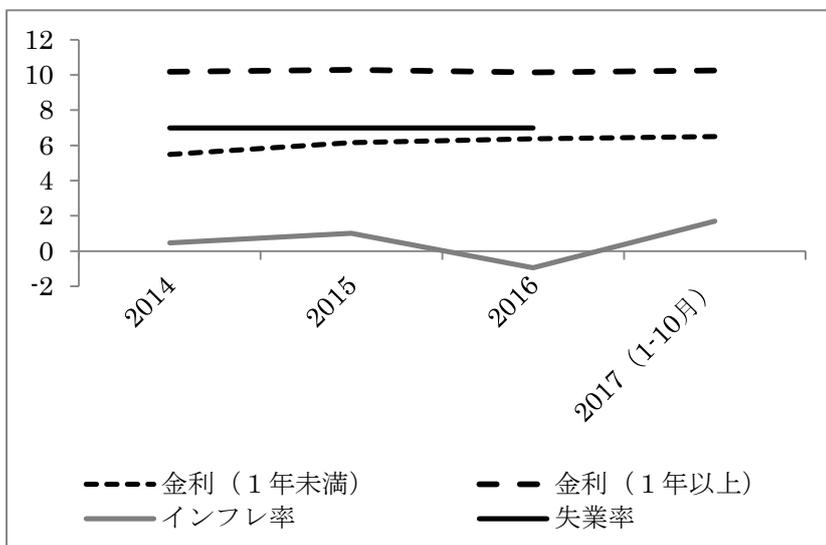
・前月同様、輸出は増加傾向。コーヒー、肉類、魚類、繊維部門の輸出が増加した一方、マキラ輸出は低下。全輸出中45.3%が米国向け。



・依然として本年の貿易収支の赤字は前年と比較し増加する見込み。

・家族送金額は前月と同様に増加。米国におけるヒスパニック系失業率低下が家族送金額増加に寄与。米国からの家族送金は全体の 97.2%

・昨年の公的債務残高は対 GDP 比約 62%と近年連続して増加。年金関連債務の増加や短期借款の発行増加が要因。



・インフレ率は前月比で若干増加。

・金利は前月比で若干低下。

出所：中央銀行，経済省統計局より作成

治安

【主要事件・報道】

- 11月7日、サンサルバドル県メヒカーノス市内を走る公共バスが、犯罪集団から銃撃を受け運転手1名が死亡した。犯罪集団は、車両にてバスに近づき、発砲後、現場から逃走した。また、8日にも同市を走行する公共バス内にて敵対する犯罪集団同士の抗争が勃発、犯罪者1名が死亡、たまたま乗り合わせていた学生が抗争に巻き込まれ負傷した。
- 本年1月から11月27日までの間で、当国に強制送還された犯罪者数が1,059名となり、昨年比、約50ポイント上昇。今後も強制送還される犯罪者が増加するものと見られており、治安の悪化が懸念されている。
- サンサルバドル県アポパ市からサンマルティン市を横断する高速道路（通称 Carretera de Oro）の沿道付近にて、犯罪組織による死体遺棄事件が多発。この死体遺棄は夜間帯に行われることから、夜間帯に車両にて同高速道路を走行した場合、犯罪者と遭遇する危険性がある。

4. 思春期の少女たちに対する暴行，性的犯罪の増加を受け，政府は，「未成年の結婚を禁止するための家族法の改正」や「思春期の少女たちの妊娠予防のための国家戦略」を立ち上げ，今後10年を見据え改善していく方針を示した。

5. 11月の殺人件数は376件で，1月からの合計は3,610件(昨年比で27ポイント減少)。年末に近づくとつれて，強盗・窃盗が増加する傾向にあるため，周囲に気を配り(警戒)，犯罪被害に遭わぬようより一層の注意が必要である。年末年始は殺人件数が増加傾向にあるが，このまま殺人件数が推移した場合，2017年における1日あたりの殺人件数は約10件，人口10万人あたりの殺人発生率は約60になると見込まれている。

【主な邦人居住地区及び観光地治安情報】

1. 11月中のサンサルバドル市サンベニート地区及びエスカロン地区の殺人発生件数は0件であったが，強盗事件が1件発生(サンサルバドル市エスカロン地区(当館より約350m)にレストラン(La 5ta)にて，武装した7人の犯罪集団が100人以上の客の所持品を強奪)。

【観光地等における危険度レベル】

レベル1: 十分注意区域

レベル2: 不要不急の渡航中止区域

国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリノ児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	サンサルバドル市の動物園
プレシデンテ劇場	プエルタ・デル・ディアブロ
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタ・テレサ温泉	
スチト旧市街	
サン・アンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサ・ブランカ遺跡	
サンタ・アナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サン・ミゲル市	
オロクイルタ市	

治安統計
 主要 11 犯罪（1 月－10 月）過去 2 年との同時期の比較

